

# JIU JITSU TODAY

VOL.  
04

2023 SPRING

【ジウジツトゥデイ】

2022年  
日本ランキング  
結果発表



## 大会レポート

KANTO OPEN / SOUTH JAPAN CHAMPIONSHIP  
COPA DE MARIANAS / ASIAN OPEN  
ART.3 / ART CHALLENGE.2  
INDIA INTERNATIONAL OPEN / 西日本柔術オープン  
CHUGOKU OPEN  
TARLAC INTERNATIONAL JIU JITSU GAMES

Interview

**Steve Shimizu**

スティーブ・シミズ

**Gurwant Singh**

グルワン・シン

**高橋逸樹** 【CARPE DIEM MITA】

大会を経て人間として成長できた気がする



# 柔術極

Lasso Guard

こだわりの刺繍と  
日本製の着心地良さが癖になる  
柔術着が新登場します！



MADE IN JAPAN

2023年夏頃  
発売予定！



2023年春発行のイサミ総合カタログで詳細を公開予定！



JIU JITSU TODAY 04 発刊

# Greeting



昨年は7年ぶりに日本でアジアオープンを開催、多くの選手の皆様に集まっていたいただき、盛況のうちに大会を終えることができました。大会数もコロナ前には及ばないものの、以前に近い回数を開催することができ、皆様の熱い柔術愛を感じることができたことに感謝しております。また本誌もおかげ様で4号目の発行となりました。今号はページ数も増え、国内の情報のみならずグアムやインド、フィリピンで開催された大会のレポートも掲載しております。日本の皆様には当連盟の活動の一部を知っていただく良い機会だと思いますので、ぜひお目を通していただけたら幸いです。

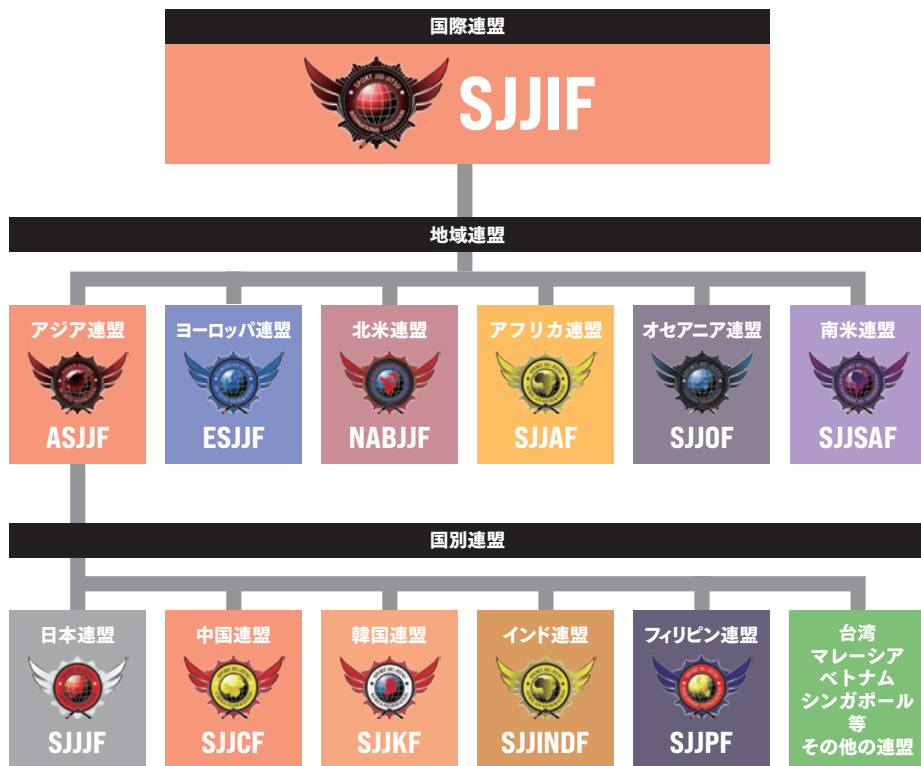


アジアスポーツ柔術連盟会長  
籠原エチソン

# SJJIF ORGANIZATION CHART

SJJIFは“柔術をオリンピック競技に！”をスローガンに掲げて、世界各地で柔術の競技大会の開催や普及活動に取り組んでいます。

## SJJIF(スポーツ柔術国際連盟)の組織図



**ス** ポーツ柔術国際連盟は2013年にアメリカを拠点として設立され、柔術の普及とオリンピック種目への採用を目指しています。

これらを実現するため、SJJIFは各大陸に連盟を設けており、ASJJFは、アジア各国における啓蒙活動と柔術大会の運営、プロモーションを担っている

団体です。

SJJJFは国別連盟にあたり、ASJJFの統括の下に日本での大会運営などを中心に活動を広げています。

ASJJF & SJJJF 大会レポート

# Report

7年ぶりに日本で開催され、のべ1300人以上のエントリーがあった  
ASIAN OPENを中心に日本で開催された大会の他  
グアム、フィリピン、インドで開催された大会のレポートをお届けします。



KANTO OPEN  
SOUTH JAPAN CHAMPIONSHIP  
COPA DE MARIANAS  
ASIAN OPEN  
ART.3

ART CHALLENGE.2  
INDIA INTERNATIONAL OPEN  
西日本柔術オープン  
CHUGOKU OPEN  
TARLAC INTERNATIONAL JIU JITSU GAMES

# KANTO OPEN 2022

DATE:2022年8月11日(木・祝)

VENUE:横浜武道館(神奈川県・関内)

真夏の祝日に横浜で開催された関東オープン。ASJJF & SJJJF はこういった地区選手権やオープン大会の定期開催にも力を入れている。今後は地方での開催も増えていくことだろう。



セス・サレット(UPRISING)とボビー・ヤマシタ(佐世保基地)が対戦したノーギ・アダルト紫帯ウルトラヘビー決勝戦。過去に敗れているボビーにセスがリベンジ成功。



ノーギ・アダルト紫帯オープンクラス表彰台。優勝はボビー・ヤマシタ(佐世保基地)で準優勝は谷口実(RBアカデミー)。3位にシーザー・ゴンザレスとセス・サレットのUPRISINGコンビが入賞。



まだ高校生の大野智輝(CARPE DIEM)は階級別はアダルト青帯ライトフェザーにエントリーし、このワンマッチ決勝戦で送り襟絞めを極めて一本勝ちで優勝。



ジュブナイル青帯オープンクラスでは1回戦で高橋瑞希(Crowforest)にまさかの一本負けを喫した大野。この大野に勝利した高橋が決勝戦で相手のDQで反則勝ちし優勝となっている。

## ノーギには日本在住の 外国人選手が多数参戦 青帯では強豪が一本負けの アップセット



今大会で唯一の黒帯トーナメントとなったマスター3黒帯フェザーは3人巴戦。この決勝戦で今大会が黒帯デビュー戦だった平村太志(IGLOO)から勝利の山田悦弘(Holoimua)が優勝している。

# SOUTH JAPAN CHAMPIONSHIP 2022

DATE: 2022年8月28日(日)

VENUE: 基山町総合体育館(佐賀県基山市)

九州は SJJJF 設立以前のドゥマウ時代から大会開催の基盤があり、毎大会大きな盛り上がりがある。九州のみならずその他の近隣県からも参戦があり、ハイレベルな試合が行われている。



アダルト黒帯オープンクラス優勝はヨースキ・ストーン (Impacto BJJ)。準優勝は添田航平(ボヘミアンズ)で、3位には岡本裕士(RJJ)が入賞を果たした。ノーギでも強いヨースキ・ストーンがアダルト黒帯ミディアムヘビー&オープンクラスでWゴールドを獲得。ミディアムヘビー準優勝はポール・ウー (イヴァンサカモトBJJ沖縄)で3位は生田堅固(トラスト柔術アカデミー鹿児島)となっている。

## 盤石の強さのヨースキがギ&ノーギでWゴールド 井手&添田の地元勢も好成績を残し面目躍如



日本人重量級の雄、添田航平(ボヘミアンズ)がアダルト黒帯ミディアムヘビーで優勝。準優勝は沖縄から参加のイヴァン・サカモト(イヴァンサカモトBJJ沖縄)で3位はベンジャミン・モリエール(カペリーニャ JJ沖縄)となった。



いまや九州随一の黒帯の井手史竜(CARPE DIEM KURUME)がアダルト黒帯ライトで優勝。マテウス・ヒロトミ(IMPACTO BJJ)が準優勝で、3位は川崎淳平(パラエストラなかがわJUDO DOJO)だ。



今大会のホストアカデミーも兼ねるLEOS JIU JITSU ACADEMYがチームポイントのアダルトとマスターで2冠を達成。地元開催だけにチームから選手が多数参戦していた

Team Point	Adult	Kids	Master
	1. Impacto Bjj	2. デスティニー柔術	3. T-rex Jiu-jitsu Academy
	1. Tatoru	2. Mephose JiuJitsu Academy	3. Paraestra Kitakyushu
	1. デスティニー柔術	2. Mephose JiuJitsu Academy	3. Tatoru



基山町イメージキャラクター  
「きやまん」

佐賀県三養基郡基山町・町長

# 松田一也

今では年に3回の大会が開催され、九州における柔術の聖地となっている佐賀県三養基郡基山町。松田一也町長は2014年に副町長として赴任し、2016年に町長となったが、町と柔術の関り、大会の変遷を見つめてきた。町長が見た柔術の印象と可能性、今後についてを語ってもらった。

——基山町では柔術の大会が長く開催されていますね。

2014年が最初ですかね。私が2014年4月に副町長として基山町へ来たんです。その時基山町では既に大会が行われていたかと思いますが、町が関与するようになったのはそれ以降です。14年の夏に友人経由で井手(智広・パラエストラ福岡イ

デDOJO代表)さんとお会いした記憶があります。それからずっとお付き合いをさせて頂いて、私が来てからは2014年の12月から2015年の春に最初の大会が開かれたと思います。

——井手さんとの関係ができて、町として大会を支援するようになっていかれたのですね。初めて柔術をご覧になりどう思いま

したか？

楽しかったです。特に女子選手の試合が激しくて印象に残ったのと、最初の頃は重量級の大きい人が来てましたので、迫力があってすごいと思った記憶があります。今はキッズがすごく多いですけど、その頃はまだキッズはあまりいなかったんですよね。

——大会の移り変わりも見つめられてきたと。

そうですね、外国の人が増えてきていますよね。先日の大会(22年12月)も外国の人とキッズが多かったと思います。最初の頃は柔道系の人が多かった



# これから伸びるスポーツ。 町としても今後も末永くやって頂ければ

記憶があって、柔道の人が柔術もやっている、そんなイメージが強かったです。柔道の寝技が得意な人が柔術もやっているというか、柔道の訓練の一つとして柔術をやってみたいな人もいたんじゃないかと思います。

——大会を重ねる中で参加層にも変化が見られていったのですね。

道着じゃないノーギも出てきましたよね。最初ノーギはなかったので。

——町長は大会の開催許可を与えているだけでなく、柔術への理解も深いので驚きました。

自分ではやらないんですけど格闘技は好きなんです。昔から極真空手とか正道会館とかをよく観ている、ブラジリアン柔術も同じように見させてもらってます。

——まだ一般の認知が十分とは言えないブラジリアン柔術ですが、基山町では知られてきているのでしょうか。

そうですね。まだ町民で強い人が現れたり、熱心な人がいるような状況にはなってないですけど、基山町でブラジリアン柔術の大きな大会がやってるっていうのは町民の人も徐々に知り始めています。元々基山町は交通の便がいいので、いろいろ

なスポーツのイベント、九州大会とかは結構いろいろやってるんです。体育館のアリーナではバドミントンであったりバレーボール、多目的グラウンドではソフトボールやサッカー、そういうものがたくさん行われています。つい最近もバドミントンの全九州高校選抜が開催されました。



——いろいろなスポーツの大会が頻繁に行われる土地なのですね。

来年はいよいよ国民スポーツ大会が開かれて、基山は卓球なので、先日も早田ひな選手を呼んでデモンストレーションを行ったり、今年1年はそういった催しをやって来年の国民スポーツ大会本番に備える形です。そのように今スポーツを盛り上げなきゃいけない時期に来ていて、ブラジリアン柔術も基山にすごく根づいておりますので、スポーツを振興するという中で、ぜひ大きな柱の一つとして頑張ってもらえたらと思っています。

——大会の開催地としては根づいているブラジリアン柔術ですが、実際にやる人はまだ出てきておらず、そこは今後の課題ですね。

私の知り合いが1回出たことがあるんですけど、1回だけでもう次の大会は出ませんでした。ただ、元々小・中学校の日本チャンピオンを結構輩出した柔道は盛んな町なので、町の中から出場する人が出てくるといいかなと思ってます。ですので鳥栖では開かれていますけど基山では柔術の教室がないので、ぜひ井手さんに基山町でも教室をやってほしいです(笑)。

——長く大会を開催してきて、柔術と柔術家から受ける印象を教えてください。

やっぱり勝負に対してすごく厳しいですね。最後まで諦めないし、ルールもきっちり守るところはすごく感じます。女子・子どもの参加者も増えていて、これから伸びるスポーツじゃないかと思っています。外国人の方が多く参加して頂いてますし、基山町としても今後も末永くやって頂ければと思います。今までの蓄積をもっと活動・サポートに活かしていければと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

# COPA DE MARIANAS 2022

DATE: 2022年10月29日(土)

VENUE: PHENIX CENTER (Guam)

グアムで定期開催されているマリアナスオープンとコパデマリアナス。渡航制限も解除され、これからは日本との提携も強化され、さらなる発展を遂げるのは確実だ。

## アダルト黒帯で活躍のアンソニー・クルーズ黒帯1年目で Wゴールド&ノーギで優勝の超新星でマリアナスプロジャパンに来日決定



日本でも名が知られるアンソニークルーズ(カーウソングレイシーグアム)がアダルト黒帯でWゴールド。ミディアムヘビー級(206lbs=85.5kg)決勝戦ではジョン・メノ(ATOSグアム)を送り標紋めで極めた。

Anthony Cruz (Carson Gracie Guam), a well-known name in Japan. He got W Gold in Adult Black Belt.



ノーギでは190lbs=76kgのみ行われ、ここで全3試合を一本勝ちで優勝したアンソニー。決勝戦はAJアグオン(ATOSグアム)をXガードからのスイープしつつフットロックで一本勝ち。

Only 190lbs was done in No-Gi division. Anthony won all three matches won by submission.



ギでWゴールド、ノーギでも優勝し、3つの金メダル=トリプルゴールドの快挙達成のアンソニーはグアム最強の黒帯といっていだらう。3月に日本で開催のマリアナスプロ・ジャパンに来日予定で日本の黒帯たちとの試合ぶりは要注目だ。

Anthony is the best black belt in Guam now, having won the W Gold in Gi and single gold in No-Gi. He got three gold medals in this tournament.



グアムの大会といえばフェニックスセンターだ。ここではマリアナスオープンとコパデマリアナスが毎回開催されており、ここにマットを持ち込んで4面進行がグアムの柔術大会の風景だ。

The Phoenix Center is the place to be when it comes to tournaments on Guam. The Marianas Open and Copa de Marianas are held here.



UFCのバンタム級で活躍中のMMAファイターレビン・ジョーンズ (VIDA BJJ)がノーギ・アドバンス 160lbs(72kg)で優勝。ロバート・ドライズデールの黒帯でグアムに移住し、柔術はVIDA BJJの所属だ。

MMA fighter Trevin Jones (VIDA BJJ) is fighting in UFC. He won No-Gi Advanced 160lbs (72kg). He is a black belt with Robert Drysdale, moved to Guam from Las Vegas.



グアム出身のMMAファイターである「スーパーサイヤン」ジョン・タックはRIZINにも来日経験あり。今大会ではたくさんの生徒たちと参戦し好成績を残した。

MMA fighter from Guam, "Super Saiyan" John Tuck, who has also fighting in Japan for RIZIN. His students made big success in this tournament.



ATOSグアの4選手でアダルト青帯のオープンクラスの決勝＆準決勝をクロースアウト。ATOSグアムはオープンからまだ1年だが、すでにグアのトップチームに急成長している。

Closeout of the Adult Blue Belt Open Class Finals & Semifinals with 4 ATOS Guam athletes. ATOS Guam has only been open for a year, but is already quickly becoming one of Guam's top teams.



女子青帯でWゴールド&ノーギも優勝のトリプルゴールドのラレイ・ガンダオリ(ピュアブレッドグアム)。キッズ時代からマリアナスのレギュラー選手で、常に優勝&入賞のトップ選手だ。

Laralei Gandaoli (Purebred Guam), a triple gold female blue belt who also won W Gold & No-Gi. She has been a regular competitor for Marianas since she was a little girl.



グアムはキッズの柔術も盛んで、午前中のほとんどはキッズの試合に費やされていた。マリアナスプロジャパンではグアの柔術キッズが多数選定予定となっている。

Guam also has a thriving kids Jiu Jitsu scene, and most of the morning was devoted to kids' matches. Many Guam Jiu Jitsu kids are scheduled to trip to Marianas Pro Japan.



ATOSグアムはチームポイントでアダルトとキッズの2部門で優勝。今大会に出場していたジョン・メノもマリアナスプロジャパンにエントリー済みだ。

ATOS Guam won both the Adult and Kids divisions in Team Points. John Meno, who was competing in this tournament, is also already entered in the Marianas Pro Japan.

## 「マリアナスプロジャパン2023」開催決定！

このマリアナスオープン&コパデマリアナスと連動して日本で開催されるのが「マリアナスプロジャパン」で、この大会で好成績を残した選手&チームが5月のGW期間中にグアムで開催予定の「マリアナスオープン」へのトラベルバック(航空券&ホテル・大会参加費)が贈呈される。日本とグアムと繋ぐ大会、それが「マリアナスプロジャパン」なのだ。

「マリアナスプロジャパン2023」  
日程:3/25(土)  
会場:駒沢オリンピック公園体育館



# ASIAN OPEN 2022

DATE:2022年11月5日(土)、6日(日)

VENUE:青山記念武道館(愛知県刈谷市)

ASJJFが主催する最大規模の大会であるアジアオープン。2022年は中部地区で開催し、日本のみならず近隣国からも参加者があり、文字通りのアジア大会となった。

## 黒帯はアダルト&マスターで大盛況

### ヨースキが4つの金メダル=クアドラプルゴールド獲得の快挙



ヨースキ・ストー (Impacto BJJ)は本来はマスター3の年齢だが、今大会ではノーギはマスター2、ギはアダルトで出場。ノーギはミディアムヘビー&オープンでWゴールド。



ギでもミディアムヘビー&オープンクラスでWゴールドのヨースキ。今大会はギ&ノーギで4つの金メダル=クアドラプル・ゴールドを達成しアジア最強といっている活躍ぶりだった。



久しぶりの試合参戦となった戸所誠哲(パラエストラ岐阜)はマスター2黒帯ライトフェザーの3人巴戦を制して優勝。コロナ禍で試合から遠ざかっていたが強さは健在。

マスター2黒帯でウルトラヘビー  
& オープンクラスでWゴールドの  
ランジェル・ホドリゲス(RRT)。  
どちらもワンマッチ決勝戦で  
巨漢の黒帯のケネス・トーマス  
(LEOS)から一本勝ちした。



約10年ぶりにASJJF主催大会に出場の白木大輔(CARPE DIEM HOPE)はマスター3黒帯ライト&オープンクラスでWゴールド、それも全試合一本勝ちという圧勝ぶり。



ともに東京から遠征して参戦の高橋圭太(上野御徒町ブラジリアン柔術部)と稲野岳(CUTE)がマスター4黒帯ライトの決勝戦で激突。試合は高橋が勝利してアジア王者に輝いた。



往年のビッグネーム、カロス・トヨタ(カロストヨタBJJ)はいまやいまやレジェンドといってもいい存在感。マスター5黒帯オープンクラスのワンマッチ決勝戦を制してメダル獲得。



マスター1黒帯ミドル決勝戦、加古拓渡(GSB)vsチアゴ・ハタダ(UJJC)はチアゴが勝利したが、本来はフェザー級の加古のミドル級準優勝は大健闘といっていだろう。



ダニーロ・ハマザキ(CARPE DIEM)と山下健士(Jiu Jitsu Gym Trinity)の対戦がアダルト茶帯ライト&オープンクラスの決勝戦2連戦となったが、どちらもダニーロ勝利でWゴールド。



今大会にははるばるモンゴルからモンゴル柔術ナショナルチームから大挙参戦。アダルト茶帯ライトの3位にムントール・ダヴァードルジ(モンゴリアンBJJ)が入賞を果たした。



アダルト茶帯ルースターは柴田宏太(カーロストヨタ)とアパレンド・ユキオ(EVOX BJJ)のワンマッチ決勝戦。柴田が絞めで一本勝ちして優勝。



片野剣太(CARPE DIEM HOPE)vsグレゴリー・タナカ(Impacto BJJ)のアダルト茶帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦は片野が三角絞めで極めて金メダル獲得。



対戦相手が会場に現れずアダルト紫帯ルースターのワンマッチ決勝戦を不戦勝で坂留知弥(RRT)が戦わずして優勝となったが、笑顔のない勝ち名乗りとなってしまった。

## アダルト茶帯はダニーロがWゴールドで制圧 紫帯ではカウアンが規格外の強さを発揮し圧倒的V



木村謙太(トライフォース大阪)はアクティブなコンペティターの一人。アダルト紫帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦で加藤聡志(マッシュアルーツクラブ中津川)から2-0で勝利して優勝。



アダルト紫帯フェザーもワンマッチ決勝戦。井田黎(UJJC)が堀部達也(HY BJJ)をサドデンスにもつれ込む混戦を制して優勝を決めている。



藤島隼弥(Impacto BJJ)に三角絞めを極め、一本勝ちでアダルト紫帯ライトで優勝したセサール・ゴンザレス(INFIGHT JAPAN)は群馬から遠征しての参戦だ。



相変わらずの圧勝ぶりだったカウアン・タミノ(福住柔術)はウイリアン・サイオ(飛翔塾)とアダルト紫帯ヘビー & オープンクラスの決勝戦で2連戦も、2試合ともカウアンが一本勝ちでWゴールド獲得となった。



オープンクラスの1試合を除いて極めまくったカウアン。ヘビー級ながらもまるで軽量級かのような素早い動きで次々とポジションを奪いまくっていたのが印象的だった。今後の活躍にも期待。



ASJJFはパラ柔術にも力を入れており、常に活躍の場を提供してる。今大会にもパラ柔術家たちが集まって試合を行い、交流を深めていた。



黒川彩乃(OVER LIMIT BJJ)と吉田綾子(TREE BJJ)の女子アダルト紫帯ルースターのワンマッチ決勝戦は、黒川のガードをパスガードした吉田が8-0で勝利して優勝を決めている。



DEEP JEWELSで活躍中のMMAファイター・青野ひかる(ストライプル新百合ヶ丘)が紫帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦に挑むも、堀内佑季(飛翔塾)のサイドからキムラを極められ一本負け。



**女子は青帯&紫帯の充実ぶりが素晴らしい**  
**マスター 青帯で**  
**MMAファイターも活躍**

紫帯オープンクラス決勝戦はフェザー優勝のヘナータ・ハルミ(INFIGHT JAPAN)とライト優勝のアユミ・カナシロ(ボンサイ)のチャンピオン対決で絞めを極めたアユミが3:04 一本勝ちで優勝。女子アダルト紫帯Wゴールドのアユミ・カナシロは現在、語学の専門学校に通いながら柔術を学んでいる。国内のみならず海外でも実績を残している若手の有望株だ。







ジュブナイル青帯のライトとオープンクラスとも決勝戦はハファエラ・アユミ(INFIGHT JAPAN)とマリアナ・ヨシカワ(カーロストヨタBJJ)に。ライト決勝もオープンクラス決勝戦も絞めで一本勝ち。



4歳で柔術を始めたハファエラはまだ13歳だが、柔術のキャリアは10年目となる。すでに国内ではジュブナイル青帯でも結果を残しているだけに、海外大会でも活躍するのは間違いなさそう。



アメリカ人のカイリー・カルブ(BJJレボリューションチーム)がジュブナイル青帯ミドル優勝。盤石の試合ぶりで絞めで一本勝ちして金メダルを獲得。



MMAファイターの石岡沙織(飛翔塾)が柔術マッチ出場。マスター1青帯ライトフェザーで3試合を勝ち抜いて優勝し、1回戦は判定勝ちだったが準決勝&決勝戦と連続で一本勝ちしている。

アダルト青帯フェザー&オープンクラスでWゴードルの吉永愛(パラエストラ岐阜)。フェザー決勝戦は腕十字で一本勝ち、オープンクラス決勝戦は17-0という大差での完勝だった。



**キッズに日本の柔術シーンの  
未来を託す  
男の子も女の子も元気いっぱい  
一本決着も多数**

今大会のキッズベストマッチは女子プレティーン黄帯フェザー決勝戦の諏訪遊希(X-TREME EBINA) vs 藤浪心彩(Impacto BJJ)の一戦だ。サドンデスの大激戦を制した諏訪、ガッツが素晴らしかった。



キッズらしからぬハイレベルな技術戦となったキングガーデン灰帯フェザー決勝戦、杉内志生(ボゴナ・クラブジム) vs 山本紗世(CARPE DIEM ASHIYA)は杉内がバックを奪い6-2で勝利して優勝。



ともに1回戦を一本勝ちで勝ち上がってきたプレティーン黄帯ライトフェザー決勝戦、佐伯舞更愛(デスティニー JJ) vs 吉村千葉(X-TREME EBINA)は佐伯が連続の一本勝ちで優勝。



プレティーン灰帯ミドルで優勝した笠井祈(BLUE MAX)は決勝戦で牧島まのん(Impacto BJJ)を軽やかな動きで翻弄し、最後は送り襟絞めで一本勝ち。



吉永愛の妹である吉永さくら(パラエストラ岐阜)は姉同様に着実に戦績を残している。女子ティーン橙帯ライト決勝戦でレベッカ・スガヌマ(EVOX BJJ)から勝利して金メダル奪取。



ジュニアティーン黄帯ライトで優勝したエンゾ・ヤマザト(カーロストヨタ)はいまキッズで最も勢いがある選手の一人。今大会でも安定した試合ぶりで優勝を果たしている。



中部地区では日系ブラジリアンが多いがその中において日本人対決になったジュニアティーン橙帯ミドル決勝戦、青木風夏(CARPE DIEM MITA)vs河野大樹(X-TREME EBINA)は青木が接戦を制した。



ティーン黄帯フェザー決勝戦のクリスチャン・マツオ(カーロストヨタ)vs鎌倉昂巧(GSB多治見)はクリスチャンが勝利して勝利の雄たけび、極めの強さが突出している。



長身から繰り出すガードワークが見事なグスタボ・ナカハ(カーロストヨタ)がティーン橙帯ミドルのワンマッチ決勝戦でピエトロ・エガシラ(BASE BJJ)から三角絞めを極め快勝。

ティーン橙帯フェザーで優勝した須田雄律(スコピオンジム)は2試合連続の一本勝ちで極め切った。父親&姉も格闘家という血筋だけに、まだまだ伸びる逸材だ。



## ART.3

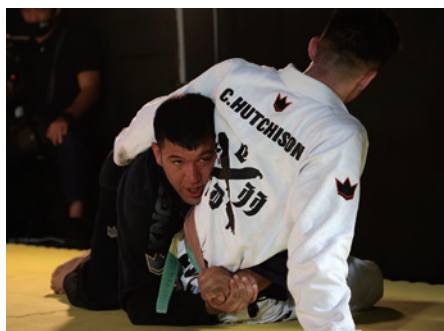
DATE:2022年11月13日(日)

ミュージックホール(東京・代々木)

ASJJF 主催のプロ柔術でワンマッチだけでなく賞金トーナメントも開催。キッズからアダルト、マ  
スターまでバラエティに富んだ顔触れが揃った。



賞金30万円の名翔テック  
カップは勝ち残っていたラン  
ジェル・ホドリゲス(RRT)が  
体調不良で決勝戦を棄権し  
たため、準決勝でランジェル  
に敗れたクレイグが代理出  
場しカウアン・タニノ(福住柔  
術)と対戦。巧みなガードワ  
ークを駆使して接戦を展開し、  
0-1でカウアンが辛勝もト  
ーナメント制覇で賞金を手にし  
た。



名翔テックカップで1回戦を藤田大(パラエストラ千葉)から11-4で勝  
利、準決勝ではクレイグに2-1で勝利したランゲルだが、この試合で体  
調不良で決勝戦を棄権した。

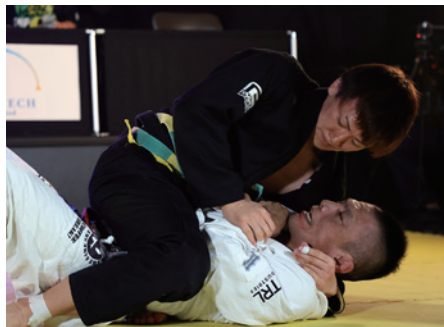


ベテランvs新鋭の図式となったアダルト黒帯フェザーの井手史竜  
(CARPE DIEM)と加古拓渡(GSB)の対戦は互いにスリーブを決め  
合う展開になり、4-2で加古が勝利し世代交代を阻んだ。

## 賞金トーナメント「名翔テックカップ」はカウアン・タニノが優勝 ワンマッチも好勝負が続出した



九州から参戦した江木伸成(LEOS JIU JITSU ACADEMY)がノーギ・アダルト黒帯ライトフェザーでノーギの雄・坂本純(トライフォース)から6:30 RNCを極めて鮮烈な一本勝ち。



ともに40代というマスター黒帯フェザーのワンマッチ、村田良蔵(YAWARA)vs石田浩(頂柔術)の試合は引き込んだ村田がスイープ&マウントからリストロックで3:14 一戦で極めた。



サドネスでスイープを決め、愛知の実力者・木部亮(SPLASH)から劇的な勝利を挙げた山田悦弘(Holoimua)。マスター黒帯ライトフェザーのベテラン対決でドラマチックなフィニッシュ。



いま絶賛売り出し中の正田皇輝(ストライブルオハナ)とSJJJF全日本王者・泰直希(スウェルズ柔術ジム)のアダルト紫帯フェザーの試合はバサガードするなどして正田が5-2で勝利している。



まだ高校生ながらアダルトでも活躍する吉永愛(パラエストラ岐阜)が女子アダルト青帯フェザーで本庄あやな(CARPE DIEM)から:44 腕十字を極めて一本勝ち。プロマッチでも極めが冴え渡っている。

過去に負けている青木風・夏(CARPE DIEM MITA)に対し、再戦のチャンスをつうがっていた須田雄律(SCORPION GYM)の希望で組まれたジュニアティーン橙帯ミドルの一戦は8-6で須田が競り勝った。



予想外のアップセットとなった女子ジュニアティーン橙帯ミドルの吉永さくら(パラエストラ岐阜)vs俣田来弥(LEOS JIU JITSU ACADEMY)の試合は俣田が10-2という大差の勝利。九州から麒麟現れた。

# ART CHALLENGE.2

DATE:2022年11月12日(土)

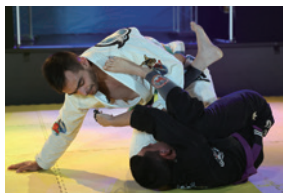
ミュージックホール(東京・代々木)

プロ柔術と同じフォーマットで行われることで人気の今大会。通常のトーナメントとは一味違ったロケーションで行われる試合は雰囲気抜群だ。



## 国際戦が多数実現

インターナショナルマッチは緊張感満載だ



メキシコ国籍の米軍人、シーザー・ゴンザレス(INFIGHT JAPAN)と日系ブラジリアンのヴィニウス・アラカキ(Impacto BJJ)の試合は3:39 絞めでシーザー一本勝ち。

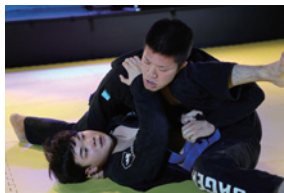


今大会のメインはマスター1黒帯ミディアムヘビーのマイク・フジモト(Impacto BJJ)vsジェイソン・モンディゴ(OVER LIMIT BJJ)のブラジルvsフィリピンの国際戦。試合終了間際に絞めを極めたマイクが一本勝ちで大会を締めくくった。

アダルト紫帯ミディアムヘビー、ベルトラン・キーナ・ケビン(ねわざワールド小江戸)vsデヴィッド・ヌネス(INFIGHT JAPAN)はガード巧者のベルトランをパスしたデヴィッドが5-0で勝利。



前回から連続参戦の木村由菜(アラバカン柔術アカデミー)がフィリピンからの刺客、アルデア・モンディゴ(OVER LIMIT BJJ)に得意の腕十字を極め、3:47 一本勝ちで快勝してる。



これまで苦戦続きの萩野貴旺(藤田柔術)だが今大会はアダルト青帯フェザーで韓国から出場のバク・イェソン(WIRE Jiu Jitsu)相手に奮闘、パスガードを決め3-0で勝利を果たす。



アダルト紫帯ライトのベルトラン・キーナ・ケビン(ねわざワールド小江戸)vsシーザー・ゴンザレス(INFIGHT JAPAN)は2-2からサドンデスに突入し、ベルトランが僅差の勝利。



プロアママッチとして開催されているARTチャレンジ。実況 & 解説付きでライブストリーミングされており、プロ大会と同じフォーマットが人気を博している。

# INDIA INTERNATIONAL OPEN 2022

DATE:2022年11月19日(土) | Talkatora Stadium(New Delhi,India)

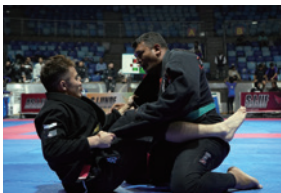
世界でも屈指の人口を誇るインドで密かに柔術がブームになりつつある。その起爆剤ともなりえる賞金トーナメントが行われ、世界各国から強豪が集った。



## ワールドクラスの強豪が出場の 賞金トーナメントはフランス人の レダ・メプトゥシュが優勝 賞金 \$5000 を獲得

優勝賞金\$5000のアダルト黒帯オープンクラスはフランスから参戦のレダ・メプトゥシュ (MKチーム) が優勝。8人トーナメントで3回勝利して賞金を手にした。

\$5,000 prize money was on the line in the Adult Black Belt Open Class tournament, which was won by Reda Mebutoush (MK Team) from France, who won three times to take the prize money.



日本からレフェリーを兼ねて参戦の田端祐介 (パラエストラ千葉) は階級別は一人優勝、賞金トーナメントは1回戦を勝利したが準決勝で敗れた。

Yusuke Tabata (Paraestra Chiba), who also participated as a referee from Japan. Won the first round in prize money tournament, but lost in the semi.



インドでも柔術は着実に広まっており、男子だけでなく女子の試合も行われた。ちなみに今大会はギとノーギの両方を同時開催している。

Jiu Jitsu is steadily spreading in India, and not only men's division but also women's matches were held. This tournament held both Gi and No-Gi at the same event.



マスター3黒帯ミドルで優勝した村田良蔵 (Yawara) は3人トーナメントで優勝しての金メダル獲得。決勝戦は韓国から参戦のチョ・スンミンと対戦した。

Ryozo Murata (Yawara), winner of the Master 3 Black Belt Middle, won the gold medal by winning the 3-man tournament. He won against Cho Sungmin from Korea in final.

# 西日本柔術オープン2022

DATE:2022年7月31(日)

VENUE:吹田市立武道館(大阪府吹田市)

SJJJFの関西の常打ち会場である吹田市立武道館は洗心館とも呼ばれており、まさに心が洗われるような厳かな会場だ。

**関西の大会では黒帯からキッズまで幅広い選手のエントリーが多数  
キッズは関東からの遠征もあり盛り上がった**



マスター2黒帯フェザーのワンマッチ決勝戦はフェルナンド・イマフク(Impacto BJJ)が松田広大(ピースメーカー)を破り優勝、金メダル獲得。



キッズのティーン緑帯フェザーは関東から遠征の河野大樹(X-TREME EBINA)が須田雄律(スコーピオジム)に勝利して優勝。関西ではキッズも盛り上がりを見せている。



マスター3茶帯ライトフェザーもワンマッチ決勝戦で里岡誠一(西神BJJ)に勝利した坂本達也(チームレグナム)が日本人対決を制し優勝している。

Team Point	Adult	1.セキタニ柔術アカデミー
	Kids	1.テン・デサフィオ
	Master	1.CARPE DIEM ASHIYA

# CHUGOKU OPEN 2022

DATE:2022年11月27日(日)

VENUE:岩国市総合体育館(山口県岩国市)

山口県で開催されている中国オープンはローカル大会ならではのアットホームな雰囲気の大大会だ。

**今大会のホストアカデミー＝LEOS JIU JITSU ACADEMY がチーム優勝  
キッズはメフォーゼ柔術アカデミーが制覇**



中国オープンのノーギ・アダルト青帯のWゴールドはノヴァ・ルイス(LEOS JIU JITSU ACADEMY)。ミドルとオープンクラスで優勝し2つの金メダルを手にした。



今大会のホストアカデミーも兼ねるLEOS JIU JITSU ACADEMYがチームポイントのアダルトとマスターで2冠を達成。地元開催だけにチームから選手が多数参戦していた



キッズカテゴリーでチーム優勝したメフォーゼ柔術アカデミー。ジム代表の西本健治が多くのキッズの引率&セコンドで大活躍し、キッズたちも好成績を残している。

Team Point	Adult	1.LEOS JIU JITSU ACADEMY 2.BURST 3.毛利道場
	Kids	1.メフォーゼ柔術アカデミー 2.LEOS JIU JITSU ACADEMY 3.TKトレーニングセンター
	Master	1.LEOS JIU JITSU ACADEMY 2.バラエストラながわイデDOJO 3. CARPE DIEM FUKUOKA



ROAD TO 150TH ANNIVERSARY OF

# TARLAC INTERNATIONAL JIU JITSU GAMES

DATE: 2023年1月14日(土)、15日

BULWAGANG KANLAHI (Tarlac city, Philippines)

フィリピンの地方都市・タルラックの150周年を記念して開催された今大会。ターラック市は人口1350万人ということで、ちょうど東京都ほぼ同じ人口の都市だ。



日本から参戦の小谷尚孝 (OVER LIMIT VIETNAM) はスーパーファイトに出演。ギとノーギでライモンド・ヴァリラ (PROJECT LIFE STYLE MANILA) と2連戦を行うも、2連敗を喫した。

Hisanori Kotani (OVER LIMIT VIETNAM) from Japan competed in the Superfight. He fought Raymond Varilla (PROJECT LIFESTYLE MANILA) in two straight fights, one in a GI and other in a NO-GI match, but suffered two consecutive losses.



## スーパーファイトの日比対抗戦は ギ&ノーギともフィリピンの2連勝 地元の黒帯の劇的な勝利に フィリピンが大爆発

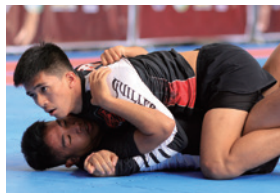
小谷に勝利したライモンドはこの勝利でフィリピンの柔術のレベルの高さを証明。いまフィリピンは柔術が大きく広まってきており、選手のスキルレベルも高い。

With this victory over Kotani, Raymond proved the high level of Filipino Jiu Jitsu. Jiu Jitsu is now spreading widely in the Philippines, and the skill level of the athletes is high.



アダルト茶帯オープンクラスで優勝したのはジェームス・ジャイミ(コブリンヤ・マニラ)。ミドル級でも3位に入賞しており2つのメダルを獲得。

The winner of the Adult Brown Belt Open Class was James Jayme (Cobrinha Manila). He also placed third in the middleweight division, earning two medals.



フィリピンはノーギも盛んで、たくさんの選手たちが試合に参戦。大会初日はギで、2日目はノーギの試合が行われ、両日も盛況だった。

NO-GI is also popular in the Philippines, and many competitors participated in the tournament. The first day is gi, and second day was held NO-GI, and both days were very successful.

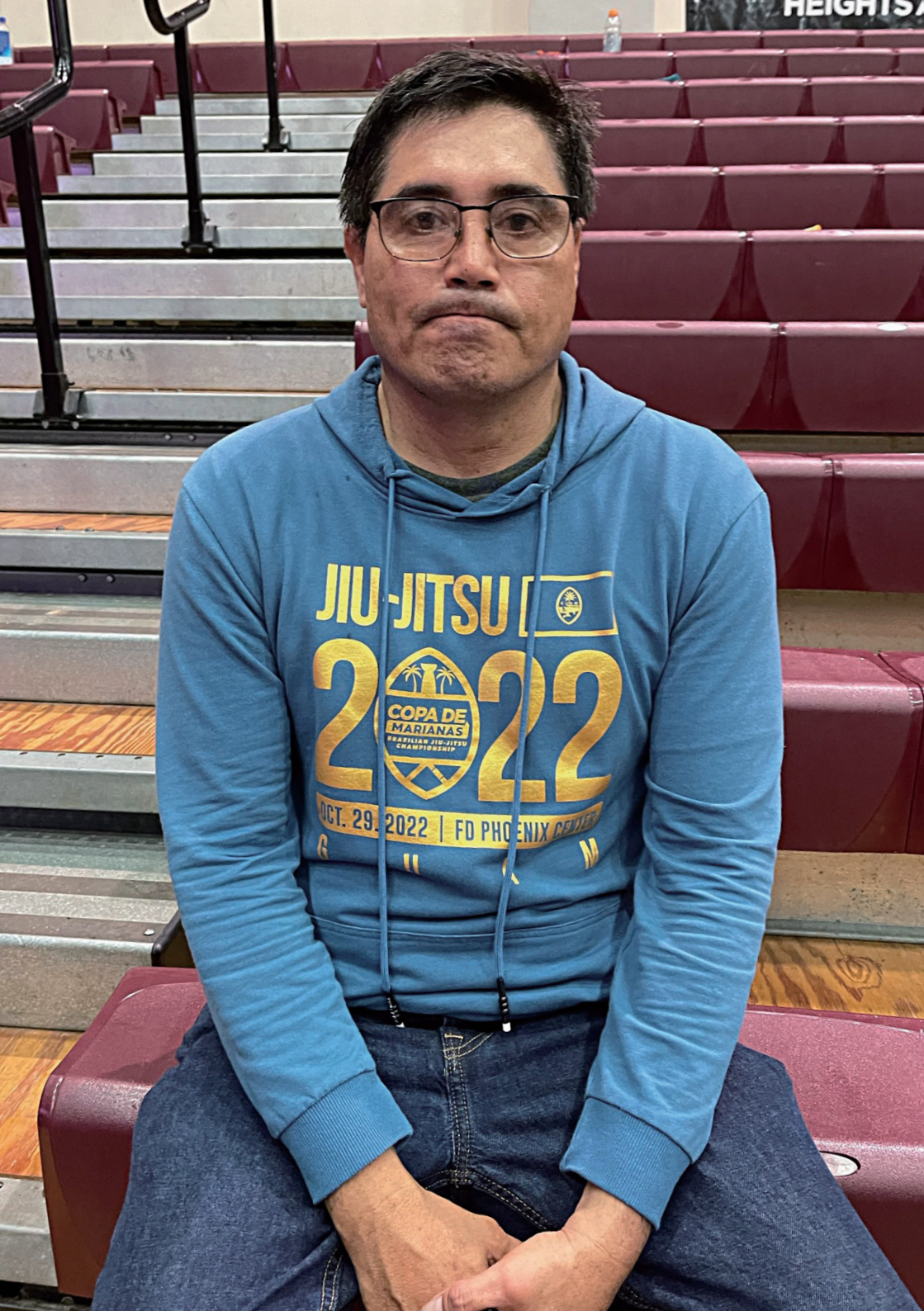


ターラック150周年を記念して開催された今大会は市の協賛もあり、大規模な大会となった。この大会は今後も継続して開催されていくことで、今後も楽しみだ。

This tournament held to commemorate the 150th anniversary of Tarlac, was sponsored by the city and was a large scale event. This tournament will continue to be held in the future, and we look forward to more in the future.

Team Point

Adult 1.Deftac Ribeiro  
Kids 1.Deftac Ribeiro  
Master 1.Deftac Ribeiro



JIU-JITSU

2022

COPA DE MARIANAS  
BRAZILIAN JIU-JITSU  
CHAMPIONSHIP

OCT. 29, 2022 | FD PHOENIX CENTER

# Steve Shimizu

スティーブ・シミズ

**グアムと世界とを繋ぐ懸け橋となるべく活動中のスティーブのこれまでとこれからを語る**

——コパデマリアナスの開催、お疲れ様でした。大会は非常に盛り上がりましたね。

ありがとう。日本からもレフェリーが参加してくれて、無事に大会を終わらせることができてほっとしています。今大会は過去最多人数のエントリーがあったんです。だから朝の8時から試合を始めなければいけなかったから、スタッフも前日はもちろん。大会当日も早朝から準備しなければいけなかったんです。それでも大きなトラブルや遅れもなく終わらせることができたのは大きな自信になりました。でも、もうこの会場で大会をやるのは無理ですね。キャパシティが足りなくなってます。なので次回大会はもっと大きな会場で、マットの数も増やして、過去最大規模で開催します。ぜひ期待してください。

——グアムの柔術シーンは再び盛り上がってきてます。マリアナスの主催者として、このことをどう考えてますか？

素晴らしいことですね。ここ何年かは世界的なコロナ禍でいろいろな面で大打撃を受けてきました。特にこのグアムは観光産業が盛んだったから、そのダメージは計り知れないものがありました。でもやっとそこから回復しつつあり、日常を取り戻してきました。そして柔術シーンも再び以前のような活気が戻ってきたと感じています。

——コパデマリアナスは2019年の開催を最後に2年間の休止期間がありました。ですが今回、2年ぶりに再開され、多くの参加者で賑わっていました。

すごく嬉しいことです。2020年の2月にマリアナスオープンを開催してからこの2年間は大会をやることができませんでした。ですが再び大会を開催

**Steve talks about his past and future as he works to be a bridge between Guam and the world.**

—— Thank you for organizing Copa de Marianas. The tournament was very exciting.

Thank you. I am relieved that the referee from Japan was able to participate and bring the tournament to a successful conclusion. We had the largest number of entries ever for this tournament. So we had to start the games at 8:00 a.m., so the staff had to prepare the day before and the day of the tournament as well, starting early in the morning. The staff had to be ready from early in the morning on the day of the tournament as well as the day before. Even so, the fact that we were able to finish the tournament without any major problems or delays gave me a lot of confidence. However, I don't think we will be able to hold the tournament at this venue again. We are running out of capacity. So the next tournament will be held at a larger venue, with more mats, and will be the largest ever. Please look forward to it.

—— The Guam Jiu Jitsu scene is once again on the rise. As the organizer of Marianas, what do you think about this?

It's great. We have been hit hard in many ways over the past few years by the global Covid disaster. Especially here in Guam, where the tourism industry was thriving, the damage was immeasurable. But we are finally recovering from that and getting back to our daily lives. And I feel that the Jiu Jitsu scene is once again back to its former vigor.

—— Copa de Marianas had a two-year hiatus after the 2019 event. I am very happy to see that the Copa de Marianas has resumed after a two-year hiatus, with a large number of participants.

I am very happy that we were able to hold the tournament

できたこと、そして参加者が以前よりも増えたことはとても素晴らしいことと思います。

——今回開催されたコパデマリアナスで好成績を残したチームや選手が日本で開催されるマリアナスプロジャパンに大挙参戦が実現します。これはどういった経緯で行うことになったのでしょうか？

これまでではアメリカ本土やブラジルから選手を呼んでスーパーファイトや賞金トーナメントを開催してきました。ですがこれからはグアムの選手にグアム以外で試合のチャンスを与えたいと考えてようになってきたんです。そしてグアムの大会にもこれから開催していくマリアナスプロの海外大会の成績優秀者を招聘し、柔術を通じた国際交流に一役買いたいと思っています。

——そして3月に開催されるマリアナスプロジャパンではアダルト黒帯～紫帯、女子アダルト黒帯、そしてキッズやアダルトのチーム優勝など、数多くの選手たちにグアムで開催のマリアナスオープンへのトラベルバック(航空券&ホテル・大会参加費免除)が贈呈されます。これは日本の選手たちにも大きなチャンスだと思います。

そうですね。過去にも日本でマリアナスプロは開催してきましたが、ここまで大規模な大会ではありませんでした。今回は駒沢オリンピック公園体育館という大きな会場で、グアムから参加する選手も100人を超す大選手団が大挙来日予定です。そしてなによりもグアム政府観光局の局長も来賓として来日予定になっているので、この大会を機に、日本とグアムの国際交流をさらに大きくしていきたいですね。

——グアム政府観光局のサポートが得られているのは大きなことですね。

そうなんです。グアム政府観光局は過去の大会もサポートしてくれていましたが、このコロナ禍を経て、再び活動が活性化してきました。日本はグアム政府観光局にとっても大きなマーケットなので、日本での大会も重要視してますよ。これをしっかりと成功させることがグアム政府観光局へのアピールにも繋がります。なので、みなさん多数のご参加お待ちしております(笑)。

——日本以外でもマリアナスプロの開催を予定し

again after the Marianas Open in February 2020, but it has been two years since we held the tournament. It is great that we were able to have the tournament again and that we have more participants than before.

—— The teams and players who performed well at the Copa de Marianas this time will participate in the Marianas Pro Japan in Japan. How did you decide to do this?

Until now, we have invited fighters from the U.S. mainland and Brazil to participate in super fights and prize money tournaments. But from now on, we want to give Guam fighters a chance to compete outside of Guam. We would also like to invite the winners of the upcoming Marianas Pro overseas tournaments to the Guam event, and play a role in international exchange through Jiu Jitsu.

—— At the Marianas Pro Japan in March, we will be awarding travel packages (airfare, hotel, and tournament entry fee waived) to the Marianas Open in Guam to many of our competitors, including adult black belts through purple belts, women's adult black belts, and kids and adult team winners. This is a great opportunity for Japanese athletes.

Yes, it is. Marianas Pro has been held in Japan in the past, but never on such a large scale. This time, it will be held at the Komazawa Olympic Park Gymnasium, a large venue, and a large group of over 100 athletes from Guam are scheduled to come to Japan. And, since the director of the Guam Visitors Bureau is scheduled to visit Japan as a guest of honor, I would like to use this tournament as an opportunity to further expand international exchange between Japan and Guam.

—— It is great that you have the support of the Guam Visitors Bureau.

Yes, it is. The Guam Visitors Bureau has supported us in the past tournaments, but after this Covid Disaster, their activities have been revitalized again. Japan is a big market for the Guam Visitors Bureau, so we also consider the convention in Japan to be very important. Making this a solid success will also help us appeal to the Guam Visitors Bureau. So we are looking forward to seeing many of you there.

—— I understand that you are planning to hold Marianas

ているそうですね。

はい、スケジュールと会場を検討中ですが、今後は日本だけでなくアジアやアメリカ本土でも開催したいと考えてます。まず決定してるのが3月の日本で、そのあとに韓国や台湾、フィリピンなどのアジアでの開催を視野に入れてます。アメリカ本土では過去にサンディエゴやラスベガスで大会を開催したことがあるので、西海岸だけでなくニューヨークやフィラデルフィアなどの東海岸でも開催できたらいいですね。

——これからも柔術を通じての国際交流が活性化していくのは間違いなさそうですね。今後の活動も注目していきます。

ありがとうございます。これからも応援よろしくお願ひします。

Pro outside of Japan as well.

Yes, we are still working on the schedule and venues, but in the future we would like to hold it not only in Japan, but also in Asia and the U.S. mainland. We have already decided on Japan in March, and after that we are looking at holding events in Korea, Taiwan, Philippines, and other Asian countries. In the mainland U.S., we have held tournaments in San Diego and Las Vegas in the past, so it would be great if we could hold tournaments not only on the West Coast but also on the East Coast, such as in New York and Philadelphia.

—— It seems certain that international exchange through Jiu Jitsu will continue to be revitalized. I will keep an eye on your future activities.

Thank you for your continued support.Oss



これまでマリナスの常打ち会場だったフェニックスセンター。長くグアムの大会会場として慣れ親しんだが、大会規模が大きくなって次回は別会場での開催になる予定だ。

The Phoenix Center has been a regular venue for the Copa de Marianas & Marianas Open. It has long been a familiar venue for tournaments in Guam, but the next event will be held at a different venue due to the increased size of the tournament.



グアム政府観光局もマリナスの大会をサポート。この協力関係はコロナ禍以降、さらに大きくなり日本はもとよりアジア近郊でも大会を開催していくとのこと。

The Guam Visitors Bureau also supports the Marianas event. This cooperative relationship has grown since the Covid Disaster, and will continue to grow as the event is held not only in Japan, but also in other parts of Asia.



大会では自ら陣頭指揮を執って運営を切り盛りしているスティーブ。グアムの人にしては珍しく、細かいことにも気を配るため、それが大会の成功にも繋がってるのは間違いない。

Steve is personally taking the lead in running tournament. His attention to detail, which is unusual for a Guamanian, no doubt contributes to the success of tournament.



グアムの大会では日本や韓国、台湾などから経験豊富なレフェリーを招聘しインターナショナルなレフェリーチームを作っている。現在はローカルのレフェリー育成にも着手している。

For the Guam tournament has invited experienced referees from Japan, Korea, Taiwan, and other countries to form an international referee team. Currently, tournament organizer is also working on training local referees.



大会後は毎回スチーブ主催のスタッフ打ち上げのバーベキューパーティが恒例行事となっている。ここでスタッフの労をねぎらいつつ、大会のフィードバックを話し合っているのだ。

After each tournament, a barbecue party hosted by steve is a regular event for the staff. This is where the staff members are rewarded for their hard work and discuss feedback on tournament.



コパデマリナスで集ったアジア柔術シーンの主要人物たち。今後は日本だけでなく韓国、台湾、フィリピンなどでも大会開催を目指している。

Major figures of the Asian Jiu Jitsu scene gathered at Copa de Marianas. In the future, they aim to hold competitions not only in Japan, but also in Korea, Taiwan, and the Philippines.

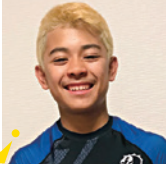
# JAPAN RANKING 2022 Result

結果  
発表

ASJJF制定の各帯別のランキングの1位の選手を一挙掲載。  
2021-2022のランキングでトップを獲った選手たち。おめでとうございます。

<p>Adult Black</p>  <p>ヨースキ・ストー 【Impacto Japan BJJ】</p>	<p>Adult Brown</p>  <p>柴田宏太 【ISHITSUNA MMA】</p>	<p>Adult Purple</p>  <p>ケビン・ベルトラン 【ねわざワールド小江戸】</p>
<p>Adult Blue</p>  <p>レアンドロ・マサト 【RRT】</p>	<p>Female Brown</p>  <p>チン・グウェン・ファン 【トルナード柔術アカデミー】</p>	<p>Female Purple</p>  <p>ヘナータ・ハルミ 【INFIGHT JAPAN】</p>
<p>Female Blue</p>  <p>吉永 愛 【パラエストラ岐阜】</p>	<p>Teen Green</p>  <p>中島琉輝 【AXIS】</p>	<p>Teen Orange</p>  <p>佐野カイル 【AXIS】</p>

Teen Yellow



クリスチャン・マツオ  
【カーロストヨタ BJJ】

Teen White



岡村梨緒弥  
【Impacto BJJ】

Junior Teen Orange



青木鳳夏  
【CARPE DIEM MITA】

Junior Teen Yellow



エンゾ・ヤマザト  
【カーロストヨタ BJJ】

Junior Teen Gray



サム・ゼンヤ  
【CARPE DIEM JIYUGAOKA】

Junior Teen White



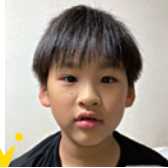
鉄永幸之介  
【CARPE DIEM HIROO】

Pre Teen Orange



春日唯都  
【CARPE DIEM MITA】

Pre Teen Yellow



堀 太亮  
【ボゴナ・クラブジム】

Pre Teen Gray



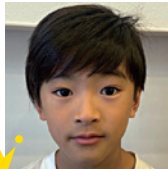
宮城 壮一朗  
【フリーダム@ OZ】

Pre Teen White



竹田陽孝  
【ボンサイ】

Youth Yellow



佐藤元太  
【X-TREME EBINA】

Youth Gray



鈴木櫻将  
【CARPE DIEM MITA】

Youth White



**和田真琉**  
【チーム絆】

Kindergarten Yellow



**曾子睿**  
【アーティストギャラクシーMMAアカデミー】

Kindergarten Gray



**ブルーノ・コジマ**  
【BJJ CORE JAPAN】

Kindergarten White



**レオ・スズキ**  
【ビットブルブラザーズ】

Toddler White



**木村鳳斗**  
【CARPE DIEM ASHIYA】

Female Teen Orange



**吉永さくら**  
【バラエストラ岐阜】

Female Teen Yellow



**弘中芳徳**  
【マスタージャパン福岡】

Female Teen Yellow



**高田双葉**  
【BURST】

Female Teen Gray



**表原奈花**  
【ねわざワールド】

Female Teen White



**石谷心優**  
【小田柔術】

Female Junior Teen Orange



**吉永さくら**  
【バラエストラ岐阜】

Female Junior Teen Yellow



**城島咲夏**  
【メフォーゼ柔術アカデミー】



Female Junior Teen Gray



津川仁実

【ALMA FIGHT GYM WARP】

Female Junior Teen Gray



松下ののか

【ボアソルチ柔術アカデミー】

Female Junior Teen White



玉利優月

【佛生館道場】

Female Pre Teen Yellow



諏訪遊希

【X-TREME EBINA】

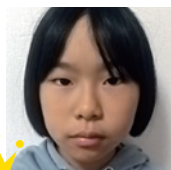
Female Pre Teen Gray



富田優菜

【正道会館菱川道場】

Female Pre Teen White



三好月乃

【SONIC SQUAD】

Female Youth Yellow



ヴィクトリア・ツビエラ

【デフタックヒベイロ】

Female Youth Gray



吉村柚咲

【X-TREME EBINA】

Female Youth White



大石 零

【メフォーゼ柔術アカデミー】

Female Kindergarten Gray



アリアンナ・バストレリ

【BJJ CORE JAPAN】

Female Kindergarten White



柴田ひかり

【BJJ アカデミー野武士】

Female Toddler White



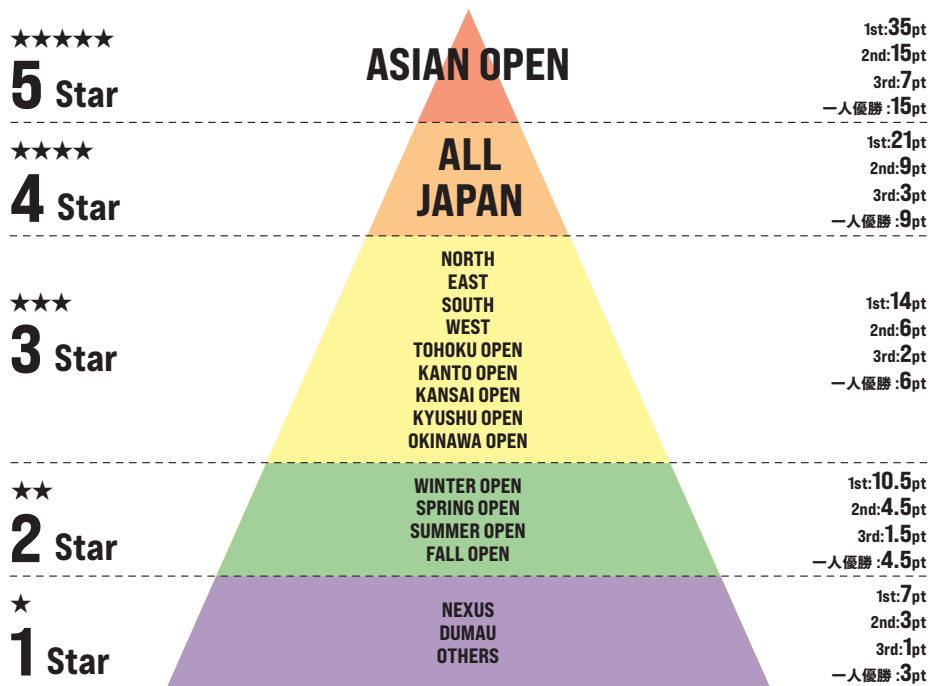
蛸原望乃

【TATORU】

# JAPAN RANKING 2023

ASJJF ではポイント制による年間ランキングを設けており、成績優秀者には表彰や翌年度の大会の出場費免除などの特典が与えられます。

## 大会のグレードと獲得ポイント数



**A** SJJFならびにSJJJFが主催、または提携する大会にはランキングポイントが定められており、入賞者には大会の格付けに応じたポイントが与えられます(上図参照)。ポイントは一年を通じ、獲得するごとに積み重ねられ、ポイント

数によるランキングが制定されます。ランキングは各カテゴリーで設けられ(帯別、性別、年齢別)、成績優秀者<sup>\*1</sup>には表彰、さらに各カテゴリーのランキング1位の選手には、2024年に日本国内で開催されるASJJF、SJJJF主催大会への参加費用

が免除される特典<sup>\*2</sup>もありますので、皆様には奮って大会へご参加いただきたいと思います。

なお、2023年度のランキングは2023年1月以降開催される大会から対象となりますので、お間違えないよう詳細はASJJFのHPでご確認ください。

<sup>\*1</sup>:各カテゴリーには最低獲得ポイントが定められており、これを超えた選手のための適用となります。  
<sup>\*2</sup>:100ポイント以上を獲得したランキング1位の選手が対象。

軽

い

黒

帯

。



MADE IN JAPAN

**2023年春頃  
発売予定!**

厚みが薄くしっかり結ぶ事が可能です。  
ほどけにくい軽量の黒帯です。  
日本製でステッチ1本1本にまでこだわった品質。



- サイズ/M3~A5
- 素材/綿100%

柔術用(赤布付) 黒帯  
1本 **3,190円** (税込)



## Profile

高橋逸樹 (たかはし・いつき)

所属: CRAPE DIEM MITA

出身: 東京都

身長: 172cm

体重: 61kg

生年月日: 2005年7月19日生まれ

柔術歴: 8年

# 高橋逸樹

## ITSUKI TAKAHASHI

### 「大会を経て人間として成長できた気がする」

高校生を対象とした「柔術甲子園」で3連覇を成し遂げて大会を卒業した高橋逸樹。これからジュブナイルを経てアダルトで活躍するであろう新星にいまの心境などを聞いた。

——柔術甲子園を3連覇しました。この戦績は素晴らしい結果だと思います。

ありがとうございます。凄く嬉しいですし、誇らしいです。柔術甲子園を優勝できたことは自分にとって大きな自信に繋がった気がします。

——過去3回の柔術甲子園でやった試合の中で印象に残ってる試合はありますか？

1番印象に残ってる試合は、やはり第1回目の大会の決勝戦、氏原魁星君との試合です。氏原君は昔から強くて有名だったので試合前に何度もビビり散らかして何とか気持ちを前に向けての試合でした。結果は反則勝ちで納得のいく勝ち方では無かったのですが、今までで1番、勝って嬉しかった試合だったので今でも覚えています。

——柔術甲子園と普通の大会の違いはどんなところがあるでしょうか？

まず大会名が良いなと思いました。甲子園といえば日本一を決めるところ、それを柔術でもで

きるというのが最高だと思います。全日本選手権とはまた違った雰囲気ですし、終わったあとには勝者にバッグや道着など賞品で頂けるというのもすごく良かったですね。

——柔術甲子園を経て、何か変わった部分はありますか？

1番大きく変わったのは、ありがたいことにイサミ様からサポートして頂けるようになったところです。初めてのスポンサーで本当に嬉しかったです。他に変わった部分は人間として成長できた気がします。柔術甲子園のおかげで色々な方と交流することが増えたのでそこで人間的にも成長できたのではと感じています。



高橋が記憶に残る試合として挙げたvs氏原魁星(ボンサイ)戦(2021年4月)。このときは反則決着だったため、いつか再戦するチャンスはあるか？!

——これからはアダルト青帯の κατηγοリーで試合をしていきますが、どういった気持ちですか？

少し怖いですが楽しみです。ジュブナイルでは対戦相手が少なく試合も少なかったのですが、アダルトでは沢山の相手がいるトーナメントになるので何十人もいる中で勝ち残ることができるのか、自分自身で楽しみにしています。

——では最後に今後の目標を教えてください。

まずはアダルト青帯で全日本選手権を優勝することが第一の目標です。それからたくさんのお大会に出て経験を積んでいき、海外遠征や世界大会に挑戦していきたいです。



2021年のASJJFアジアンでは全試合一本勝ちでジュブナイル青帯フェザーのトーナメントを制覇。柔術甲子園だけでなく、その他の大会でも数多くの戦績を残している。



# Gurwant Singh

グルワン・シン

中国を越え世界最大の人口数と言われているインドで、柔術の普及に取り組んでいるインド連盟代表グルワン・シン氏に今後の目標などを聞いた。

We interviewed Mr. Gurwant Singh, representative of the Federation of India, who is working to promote jiu-jitsu in India, which is said to have the largest population in the world, surpassing China, about his goals for the future.

Registration are open



Delhi International Open  
Jiu Jitsu Championship 2023

Sunday, February 19, 2023  
Huda Community Center, Gurgaon  
India

—まずは日本の皆さんに自己紹介をお願いします。

グルワン・シンです。柔術歴は9年で茶帯です。インド連盟の会長を務めています。

—インド連盟を作ったきっかけを教えてください。

きっかけはSJJIFが組織化された連盟であり、サポートが充実していたのを知り、我々もその一員となりインドに柔術を広めたいと考えたからです。

—インド連盟の目標は何でしょうか？

インドで柔術を広めるだけでなく、インドの柔術家たちをサポートすることです。

—連盟に加盟するにはどうしたらいいのでしょうか？

インド連盟のInstagramをフォローすることから始めてください。そこで加盟の仕方がわかります。

—柔術家にとって連盟に加入することはどれくらい重要なことですか？

連盟に加盟すれば、あなたと同じく柔術への情熱と愛情を持った人たちが繋がるだけでなく、練習の成果を確認できる試合へ参加することができるのでとても重要なことだと思います。

—柔道やレスリングなどの組み技競技をやっている人たちが連盟に加盟したり、試合に参加するにはどうしたらいいですか？

私たちのウェブサイト(SJJIF.com)にアクセスし、参加方法をご確認ください。

—インド連盟は2023年に大会を何回開催する予定ですか？

3大会の開催する予定なので、ぜひ日本のみなさんもお参加ください！

—First of all, please introduce yourself to the Japanese people.

My name is Gurwant Singh. I have 9 years of BJJ experience and am a brown belt. I am the president of the Indian Federation.

—What made you start working with the federation?

I started working with Sports Jiu-jitsu India Federation because I saw how organized and supportive they were. Along with this I saw the sense of community they had and I really wanted to be apart of that!

—What is the goal of the federation?

The goal of this federation is to not only spread Jiu-jitsu in India but also provide support to jiu jitsu athletes in India.

—How can people get involved?

They can start off by following the instagram @SJJINDIndia and all the resources are there!

—How important is for the BJJ community to join the federation?

It's very important because this BJJ community really does surround you with people that have the same passion and love for Jiu-jitsu as you which allows us to accomplish goals such as promoting tournaments in which we can practice and experience the sport!

—How can the Judo, wrestling and other grappling community members become part of the BJJ community and events in India?

You can start off by visiting our website SJJIF.com where you will find all of the resources.

—How many events is the India federation looking to have in 2023?

We are very much looking forward to hosting three tournaments. I hope everyone in Japan will join us!

# ASJJF Upcoming Events 2023 February-March

ASJJF では今後も多くのイベントを予定しております。  
詳しくは ASJJF または SJJJF の HP をご参照ください。



## THE 1ST REVERSAL JIU JITSU CUP 2023 IN FUKUOKA

福岡県  
春日市総合スポーツセンター 3F 柔道場  
2月19日(日)



## Cebu International Open Jiu Jitsu Championship 2023

Robinson's Galleria  
Cebu, Ground Floor  
Atrium, Cebu city  
Philippines  
3月4日(土)、5日(日)



## Cebu International Open No-gi Championship 2023

Robinson's Galleria  
Cebu, Ground Floor  
Atrium, Cebu city  
Philippines  
3月5日(日)



## KIWAMI JIU JITSU CHAMPIONSHIP GRACHAN x SJJJF

千葉県  
幕張メッセ 国際展示場  
8ホール  
3月19日(日)



## KANSAI INTERNATIONAL JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2023

大阪府  
吹田市立武道館  
3月21日(火・祝)



## KANSAI INTERNATIONAL NO-GI CHAMPIONSHIP 2023

大阪府  
吹田市立武道館  
3月21日(火・祝)



## MARIANAS PRO JAPAN 2023

東京都  
駒沢オリンピック公園総  
合運動場体育館  
3月25日(土)



## TOKYO INTERNATIONAL SPRING JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2023

東京都  
駒沢オリンピック公園総  
合運動場体育館  
3月26日(日)



## TOKYO INTERNATIONAL SPRING NO-GI CHAMPIONSHIP 2023

東京都  
駒沢オリンピック公園総  
合運動場体育館  
3月26日(日)



## TOKYO INTERNATIONAL SPRING PARA JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2023

東京都  
駒沢オリンピック公園総  
合運動場体育館  
3月26日(日)



## Manila International Open Jiu Jitsu Championship 2023

Festival Mall Alabang,  
Manila  
Philippines  
4月1日(土)、2日(日)



## Manila International Open No-gi Championship 2023

Festival Mall Alabang,  
Manila  
Philippines  
4月2日(日)

## ASJJF、SJJJF のホームページはこちらから



# JIU JITSU TODAY

【発行】



Asian Sport Jiu-jitsu Federation